

OKIグループのマテリアリティ

OKIは長年にわたり、企業理念に基づいて広義の社会インフラを支え、社会に貢献してきたことを誇りとしています。このたび、こうした姿勢を長期に継続し、「社会の大丈夫をつくっていく。」ために必要なマテリアリティの特定を行いました。OKIの事業が目指す方向性と、社会・ステークホルダーの期待・要請の両面から取り組むべき課題を抽出し、優先度を整理しています。OKIは今後マテリアリティの具体的なKPIを設定して取り組みの進捗を管理し、その状況を適時に情報発信していきます。



*SR : Shareholder Relations

中長期的な企業価値向上を目指しESGの取り組みを強化

OKIの目指す姿と取り組むべき社会課題

重要課題 (マテリアリティ)

社会価値をつくりだすために

▶社会課題を解決するモノ、コトの実現

社会課題:老朽化問題、自然災害、交通問題、環境問題、
労働力不足、労働生産性、感染症拡大



経営基盤強化のために

▶ステークホルダーの期待に応える企業活動の実現

誠実な企業活動(ガバナンス、内部統制、情報開示)、
気候変動への対応、人財マネジメント



▶モノづくりを支える基盤の強化

社会/ステークホルダーの期待・要請とOKIをとりまく社会課題